Panasonic

取扱説明書

工事説明付き

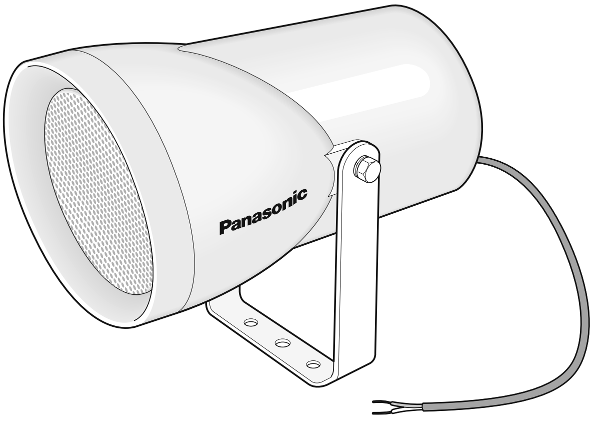
スピーカーシステム

品番 **WT-7006,WT-7015,WT-7030**

ご使用前に

工事

その他



（イラストはWT-7006です）

もくじ

はじめに…… 2
　商品概要…… 2
　付属品をご確認ください…… 2
　免責について…… 2
　記号について…… 2
安全上のご注意…… 3
取り扱い上のお願い…… 5
　使用上のお願い…… 5
　工事上のお願い…… 6
各部の名前…… 7
設置のしかた…… 7
　1 工事に必要な部材と工具の準備…… 7
　2 工事作業前の確認…… 7
　3 本機の設置…… 8
　4 スピーカーケーブルの接続…… 10
　5 設置作業後の確認…… 11
仕様…… 12
外観図…… 13
保証とアフターサービス…… 14

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（3～4ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

ご使用前に

商品概要

本機は、耐水性に優れたコーンスピーカー内蔵の屋外・屋内兼用のホーンスピーカーです。

- WT-7006：定格入力6 W
- WT-7015：定格入力15 W
- WT-7030：定格入力30 W

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）..1冊
保証書...1式

以下の付属品は取付工事に使用します
接続プラグ付きスピーカーケーブル................................1本

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、拡声ができないことなどで被る不便・損害・被害
⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
⑥ 本商品の不良・不具合以外の事由（取付工事の不備、建屋側取付面の不良などを含む）による落下などによる不便・損害・被害

記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。

重要 ：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**（次は図記号の例です）

🛇	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

工事は販売店に依頼する
工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。
● 必ず販売店に依頼してください。

高所作業は資格者が行う
工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物破損の原因となります。
● 必ず販売店に依頼してください。

アンカーの引抜強度を確保できる場所に取り付ける
落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

防雪対策を施す
雪の重みで落下によるけがや事故の原因となります。
● ひさしなどで防雪してください。

ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける
落下によるけがや事故の原因となります。

水抜き穴は下向きに取り付ける
水が内部に入り、火災や感電の原因となります。
● 商標（Panasonicの表示）が正しい向きになっていることを確認してください。

定期的に点検する
金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。
● 点検は、販売店に依頼してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる
煙が出る、においがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

コネクターの抜き差しはアンプの電源を切ってから行う
ノイズ音でスピーカーが破損する恐れがあります。

禁止

アンプの電源を入れたまま工事、配線をしない
火災や感電の原因となります。

ケーブルなどは引っ張らない
火災や感電の原因となります。

ぶら下がらない。足場代わりにしない
けがや事故の原因となります。

ご使用前に

安全上のご注意

⚠ 警告

禁止

可燃性ガスの雰囲気中で使用しない
爆発によるけがの原因となります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない
取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

振動する場所に取り付けない
振動で金具が破損し、落下によるけがや事故の原因となります。

油の付着しやすい場所に設置しない
取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

雪が落下するような場所に取り付けない
落下によるけがや事故の原因となります。

異物を入れない
水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。
- 直ちにアンプ電源を切り、販売店に連絡してください。

過大入力を加えない
火災やけがの原因となります。
- 異常音が出る場合は過大入力が加わっていますので、直ちに入力レベルを下げてください。

ケーブルを傷つけない
重いものを載せたり、はさんだりするとケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

スピーカーや金具に異常があったら放置しない
長期にわたって放置すると、各部の劣化が進み、落下によるけがや事故の原因となります。
- 取り外しは、販売店に依頼してください

分解禁止

分解しない、改造しない
落下によるけがや事故の原因となります。
- 必ず販売店に依頼してください。

⚠ 注意

配線は正しく行う
ショートや誤配線により、けがの原因となります。

人がぶつからない高さに取り付ける
けがの原因となります。。

廃棄は専門業者に依頼する
燃やすと化学物質などで目を痛めたり、火災、やけどの原因となります。

禁止

無理な力を加えない
取付部が破損し、落下によるけがや事故の原因となります。

磁気メディアを近づけない
磁気記録メディアを近づけると、情報が消えます。

取り扱い上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

使用上のお願い

使用上の注意事項

- スピーカーの開口部を上に向けて使用しないでください。
- 同じ場所で2台以上のスピーカーを使用する場合は、必ず極性を合わせてください。
- 雪の落下が予想されるような軒下に取り付けないでください。
- 設置作業は、設置後の安全に関わる重要な作業です。設置中および設置後の事故を防ぐため、工事は販売店や専門の工事店に依頼してください。
- 安全のため、十分な落下防止対策を施し、必ず定期的に保守点検を行ってください。点検は、販売店に依頼してください。
- 使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください。

■保守点検契約のお願い

本機を非常用放送設備として使用する場合は、消防法により定期点検、消防署への報告および点検結果の維持台帳への記録が義務づけられています。建物の規模、用途によっては消防設備士または総務大臣が認めた有資格者による点検が必要です。
非常用放送設備が正しく動作するために、保守点検契約の締結をお勧めします。保守点検契約の締結については、販売店（工事店）または販売会社にお問い合わせください。

■日常点検をしてください

万が一の際（非常時）、機器が正常に動作するよう日常点検を行ってください。

■日常点検時に異常を発見した場合は、ただちに販売店または保守契約店にご連絡ください。

■必ず定期点検を行ってください

日常点検は機器の動作の一部だけを点検するもので、すべての点検を行うものではありません。必ず定期点検を行ってください。

定格入力について

- 本機やアンプなどの破損を防ぐため、以下の内容をお守りください。
  - 過大な入力や異常な信号を本機に加えないでください。本機の定格入力は以下のとおりです

スピーカー（品番）	定格入力
WT-7006	6 W
WT-7015	15 W
WT-7030	30 W

- 大きな出力のアンプを使用する場合、過大な入力が本機に加わらないよう、アンプの音量を調節してください。
- 定格入力以下の出力アンプを使用する場合でも、アンプへの入力信号が大きすぎたり、音量を上げすぎたりすると、アンプの出力がひずみ、本機が破損する原因になります。アンプの入力感度や出力には十分に注意してください。
- アンプのトーンコントロールやラウドネス、イコライザーを使って低音や高音のレベルを上げると、通常より大きなパワーが本機に加わります。このような操作を行うときは、アンプの音量に注意してください。
- 次のような特殊な信号を本機に加えるときは、信号が定格入力以下のときでもアンプの音量を必ず下げてください。アンプの音量を下げないと、本機に過大な電流が流れ、断線など故障の原因になります。
  1. FM放送の局間ノイズ
  2. テープデッキの早送り、巻き戻し時の高い周波数成分の音
  3. マイクや電子楽器などを使用しているときに発生するハウリング音
  4. アンプやチューナーなど周辺機器の電源スイッチのオン／オフや入力端子の抜き差し時に起きるショックノイズ
  5. 発信器や電子楽器などによる連続的な高い周波数成分の音や低い周波数成分の音
  6. マイクを低域カットフィルターなしで使用した場合のノイズおよびファンタム電源オン／オフによるショックノイズ
  7. グラフィックイコライザーで低域レベルを上げたり、低域成分を増加させるエフェクターを使用する場合

お手入れのしかた

- お手入れはアンプの電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。
  ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きにしたがってください。

工事上のお願い

工事上の安全注意事項

- 本機を取り付けるときは、以下の事項をよくお読みのうえ事故が発生しないように注意してください。
  - ・ヘルメット、安全靴、安全帯などの安全具を必ず着用してください。
  - ・一人作業は禁止です。
  - ・高所作業車操作、足場組み立てについては、必ず有資格者が作業してください。
  - ・作業は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
  - ・落下、転落など安全対策を実施してください。
  - ・本機を接続する際には、接続されるアンプなどの機器の電源を切ってから作業してください。
    感電の原因になります。
  - ・作業が安全·確実に行えるよう、その他安全管理の徹底を行ってください。

設置について

- 本機は屋内・屋外用です。
  なお、以下のような場所での設置および使用はできません。
  - ・雪の落下が予想されるような場所（軒下なども含む）
  - ・プールなど、薬剤を使用する場所
  - ・工場や厨房などの蒸気や油分の多い場所、および可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所
  - ・海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
  - ・車輌や船舶などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）
  - ・体育館などのスポーツ施設で使用する場合などで、ボールなどが直接ぶつかる場所
  - ・使用温度範囲（−10 ℃〜+50 ℃）を超える場所

設置面について

- 取付金具を取り付ける壁や天井などの部分は、しっかりした場所に取り付けてください。**アンカー１本あたり、指定された最低引抜強度の5倍以上の引抜強度が必要です。**
- 石こうボードや木部は比較的強度が弱いので、取り付けないでください。やむを得ず取り付ける場合は十分な補強（アンカーの引抜強度が確保できる強度）を施してください。

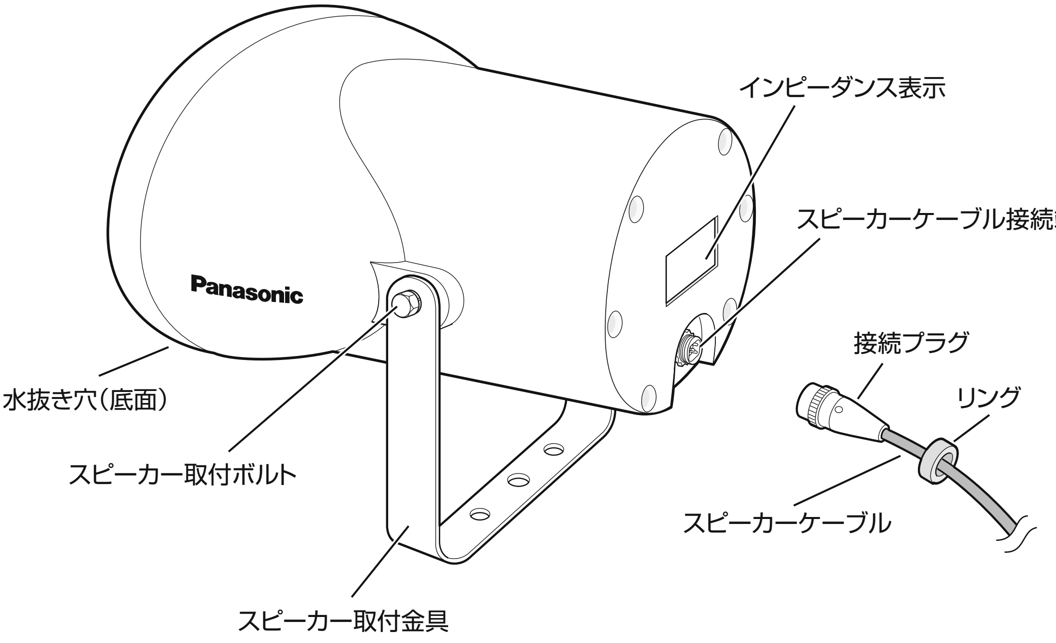
使用するねじやボルトについて

- **使用するアンカーは指定された最低引抜強度の5倍以上の強度を持つものを使用してください。**
- 取付金具に本機を取り付ける際のねじやボルトは、必ず取付金具に付属のものを使用してください。その他、現地調達するアンカーやボルトは、必ずステンレス製の規格品を使用してください。
- 緩み止めのために平座金（みがき丸）とばね座金を使用してください。
- 木ねじは使用しないでください。

ねじやボルトの締め付けについて

- ねじやボルトは指定されたトルクで締め付けを行ってください。過度なトルクで締めると、ねじ山が破損し落下の原因になります。また、弱いトルクで締めるとねじの緩みの原因になります。
- 締め付けの際にトルクを指定するため、トルクドライバーやトルクレンチを使用してください。
- トルクドライバーやトルクレンチはトルク指定を行える範囲に制限があります。指定された推奨トルク値を参考にして、適切なトルクドライバーやトルクレンチを使用してください。
- トルク管理が難しいインパクトドライバーや電動ドライバーは、ねじやボルトの破損の原因になりますので、使用しないでください。
- ねじやボルトはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

各部の名前



設置のしかた

1 工事に必要な部材と工具の準備

本金具の取付工事には、以下の部材や工具が必要です。工事を始める前に準備してください。

- スピーカー本体
- 接続プラグ付きスピーカーケーブル（付属品）
- トルクレンチ
- アンカー施工用工具
- アンカー、座金、ナット（設置面取り付け用。現地調達）
  ※アンカー、座金、ナット類はさびにくいステンレス製を用意してください。
- ニッパーなどスピーカーの配線に必要な工具
- 絶縁チューブ付きカシメ金具（現地調達）
- ヘルメット、安全靴、安全帯、脚立など高所作業に必要な装備。

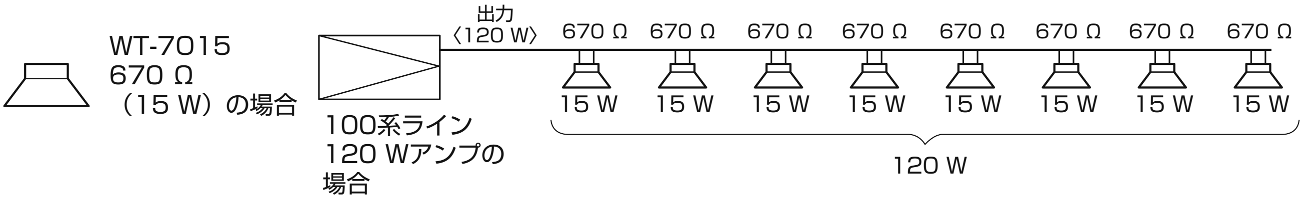
2 工事作業前の確認

①設置面の強度を確認します。
本機を取り付ける天井や壁は、アンカー1本あたり指定された最低引抜強度の5倍以上の強度を持つ場所にしてください。

スピーカー（品番）	質量	最低引抜強度
WT-7006	約1.5 kg	1.1 kN {115 kgf}
WT-7015	約2.7 kg	1.3 kN {133 kgf}
WT-7030	約3.3 kg	1.3 kN {135 kgf}

②接続状態を確認します。

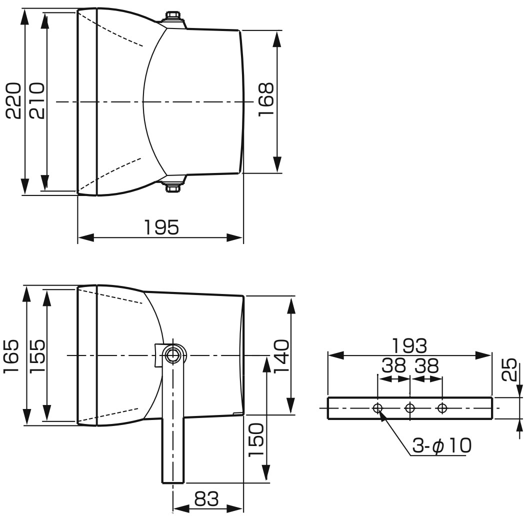
- 作業を行う前に接続する機器の電源を切ってください。アンプなどの電源が入った状態でスピーカーを接続すると、感電する恐れがあり危険です。
- 接続するアンプは、必ずハイインピーダンス方式のものを使用してください。
- 本機とアンプの接続コードは、なるべく直流抵抗の少ないものを使用してください。
- スピーカーを2台以上使用する場合は、合成電力が使用するアンプの定格電力以下になるように接続してください。



3 本機の設置

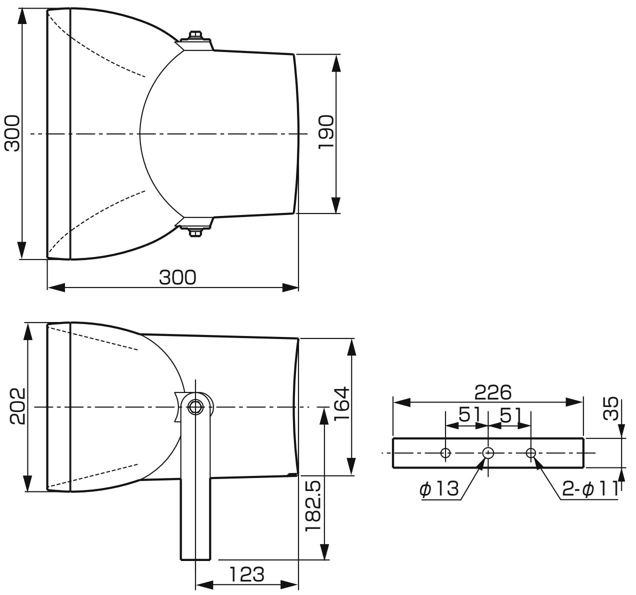
①下記の寸法を参考にして、アンカー（3本）を打ち込みます。（単位：mm）

<WT-7006>



使用できるボルト：M8、W3/8

<WT-7015、WT-7030>



使用できるボルト：M10、W3/8
（センターのみM12使用可能）

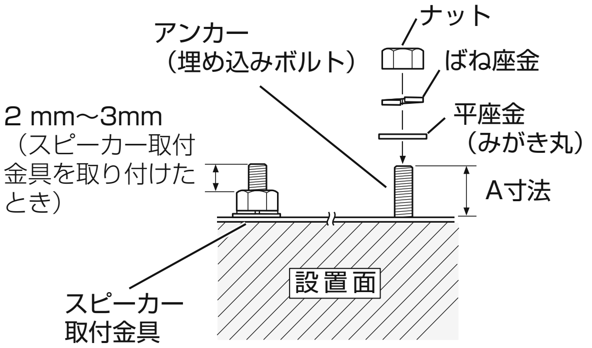
②六角ボルトまたはナットで、打ち込んだアンカーにスピーカー取付金具を取り付けます。

重要

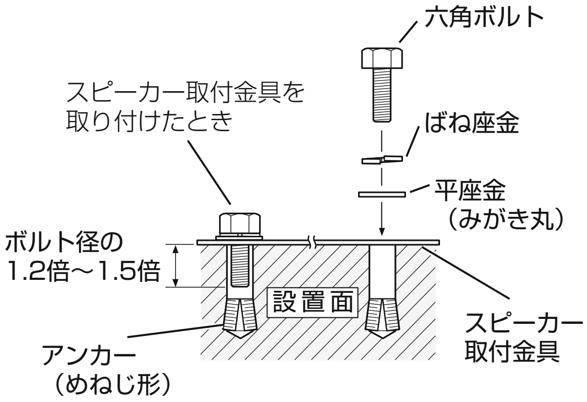
- 本機を確実に取り付けるため、以下の点に注意してアンカーを取り付けてください。
  - スピーカー取付ボルトを外さないでください。
  - アンカーの埋め込み深さは、各アンカーメーカーの推奨値にしてください。
  - 六角ボルトの最小径は以下のとおりです。M8よりも小さいボルトで固定しないでください。
    WT-7006：M8　　WT-7015／WT-7030：M10またはW3/8
  - 六角ボルトの最大径は以下のとおりです。
    WT-7006：W3/8　　WT-7015／WT-7030：中央がM12、左右がM10
    （穴径は中央がφ13、左右がφ11）
  - 設置面への取り付けは、2本の六角ボルト（現地調達。ステンレス製）またはナット（現地調達。ステンレス製）を使用して固定してください。締付トルクは、以下を確認してください。緩み止めのために平座金（みがき丸）（現地調達）とばね座金（現地調達）を使用してください。
    ［推奨締付トルク］
    - M8　：12.5 N・m ｛128 kgf・cm｝
    - M10、W3/8　：24.5 N・m ｛250 kgf・cm｝
    - M12　：42 N・m ｛429 kgf・cm｝

    ※上記締付トルクは、金属同士の締付トルクです。
  - 六角ボルトの長さは、ボルト径の1.2〜1.5倍以上のかん合長さを確保してください。（下図）
  - 六角ボルトがアンカーの底に当たらないなど、確実に締めつけられていることを確認してください。
  - アンカーが埋め込みボルトの場合は、スピーカー取付金具を取り付けたときに、A寸法がナットを貫通して2 mm〜3 mm程度の余裕があることを確認してください。（下図）

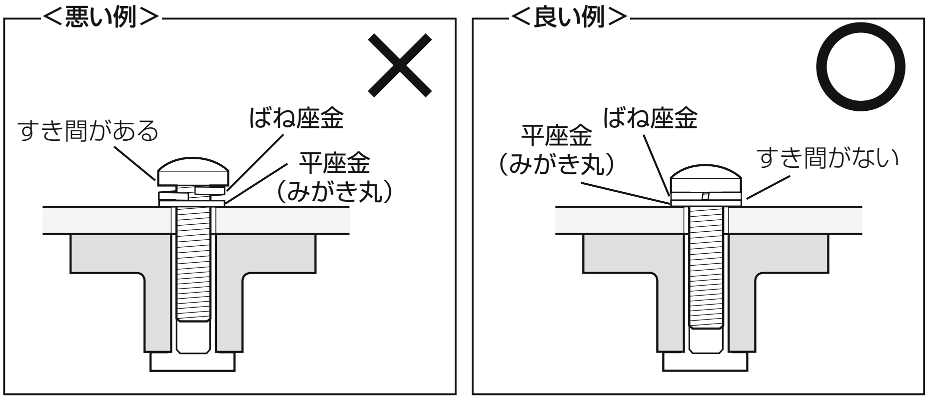
■アンカーが埋め込みボルトの場合のねじ推奨凸量（A寸法）



■アンカーが、めねじ形の場合の六角ボルトの長さ



  - ばね座金を使用して、必ず緩み止めを行ってください。
  - 六角ボルトおよびナットは、ばね座金のすき間がなくなるまで、十分なトルクで締めてください。

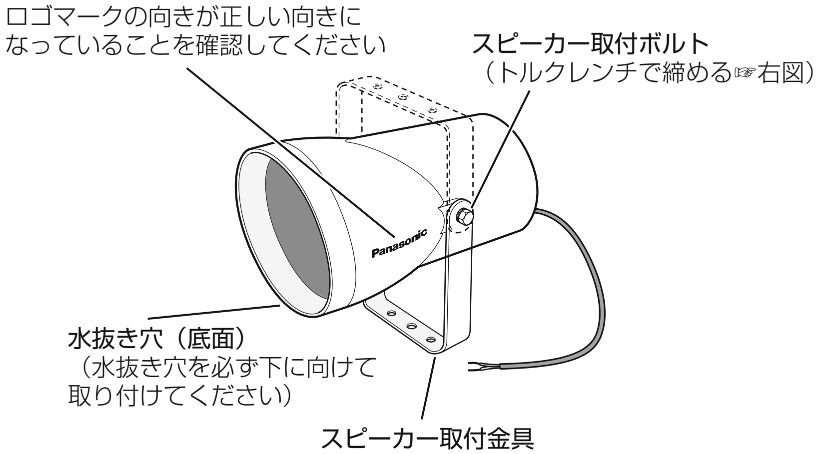


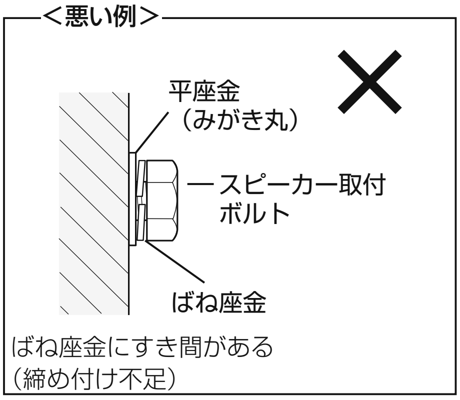
  - スピーカー本体側面のロゴマークの向きが天地逆にならないように取り付けてください

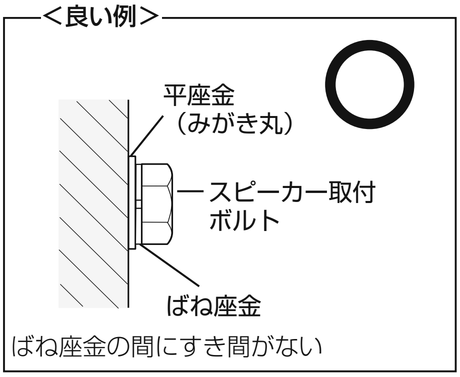
③取付角度を調節します。
最適な再生が行えるように角度を調節してください。

工事

④角度を調節したあと、スピーカー取付ボルトをトルクレンチで締め付けてください。
- 必ず水平より下向きになるように設置してください。
- ばね座金がしっかり圧縮されていることを目視にて確認してください。
  ［推奨締付トルク］※樹脂部への締付トルクです。
  12.2 N・m ｛124.5 kgf・cm｝





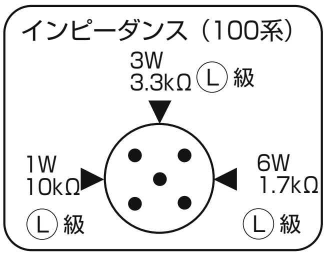


4 スピーカーケーブルの接続

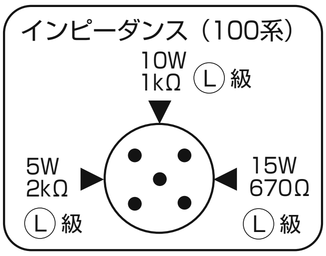
重要
- 接続するアンプは、必ずハイインピーダンス方式のものを使用してください。
- アンプの電源スイッチを必ず「切」にしてから本機を接続してください。
- 接続する前に、極性を十分に確認してください。極性を誤って接続すると故障の原因になります。

①接続プラグを挿入する位置でインピーダンスを切り換えます。
接続プラグの白マーク「○」の位置を本機後面のインピーダンス表示図「▶」に合わせて接続プラグを挿入すると、インピーダンスの設定を行うことができます。以下の図は、インピーダンス表示図の例です。

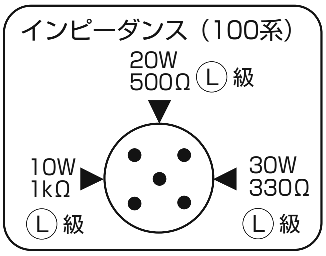
●WT-7006



●WT-7015



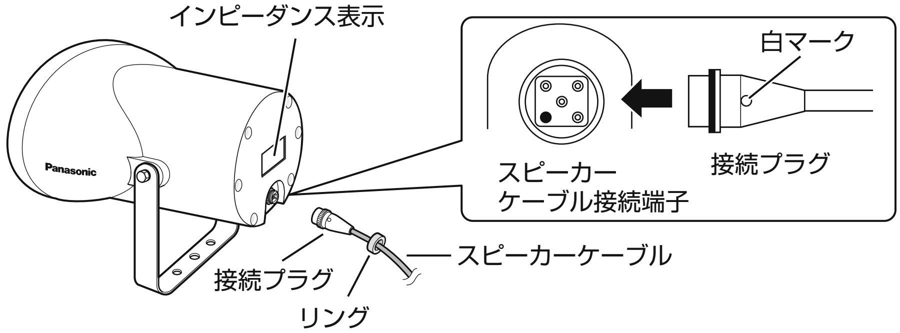
●WT-7030



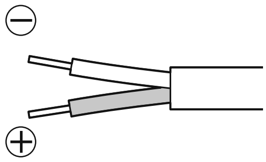
②接続プラグを挿入したら、リングを回して固定します。

重要

● 接続プラグはしっかり締め付けてください。締め付けが緩むと、防水の効果がなくなります。



③アンプからのスピーカーケーブルの極性に注意して、付属の接続プラグ付き
スピーカーケーブルを接続します。
黒色：＋　　白色：－



重要

● スピーカーケーブルの接続は、絶縁チューブ付きカシメ金具を使用して、確実に行ってください。

5 設置作業後の確認

設置作業後は、以下のチェック事項をチェックし、確実に作業が行われたことを確認してください。

項　番	チェック事項	チェック結果
1	設置面とスピーカー取付金具の取り付けに緩みはないか（ばね座金が圧縮されているか）？	
2	スピーカー取付ボルトの緩みはないか（ばね座金が圧縮されているか）？	
3	配線の極性に間違いはないか？	
4	スピーカーケーブルのジョイントには、絶縁チューブ付きカシメ金具を使用しているか？	
5	本機は適切な角度で取り付けられているか（音の方向は適切か）？	
6	共振音やびびり音の発生はないか？	
7	音量は適切に調節されているか？	

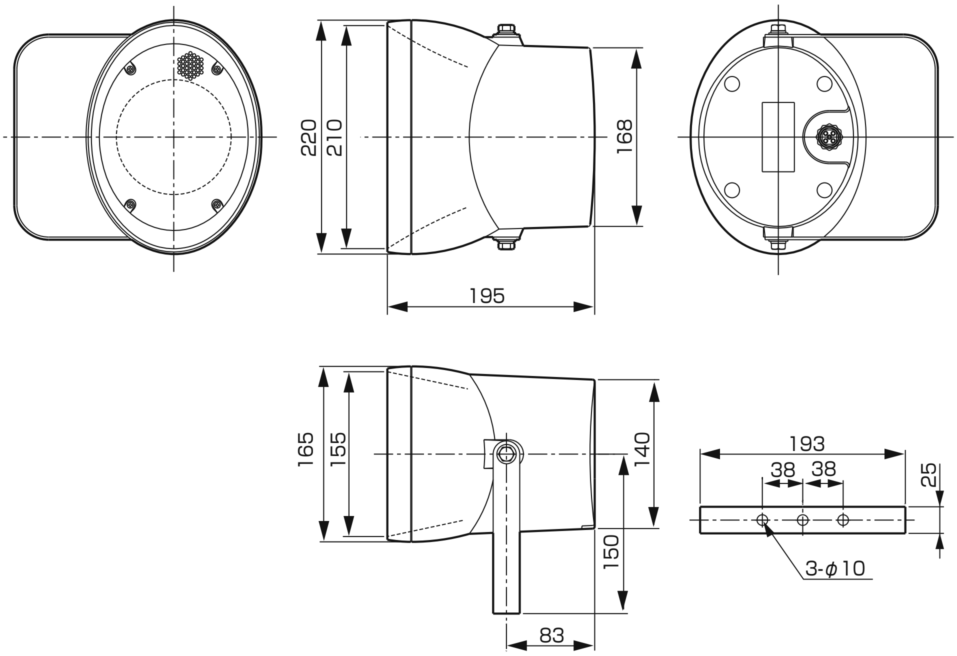
仕様

仕様	WT-7006	WT-7015	WT-7030
入力インピーダンス	1.7 kΩ（6 W）、 3.3 kΩ（3 W）、 10 kΩ（1 W）	670 kΩ（15 W）、 1 kΩ（10 W）、 2 kΩ（5 W）	330 Ω（30 W）、 500 Ω（20 W）、 1 kΩ（10 W）
定格入力	6 W	15 W	30 W
種別※1	L級		
指向特性区分※2	M		
音響パワーレベル※2	96 dB（1 W）	96 dB（1 W）	99 dB（1 W）
出力音圧レベル※3	96 dB（1 m／1 W）	99 dB（1 m／1 W）	101 dB（1 m／1 W）
周波数特性	150 Hz～13 kHz	150 Hz～15 kHz	180 Hz～15 kHz
使用温度範囲	－10 ℃～+50 ℃		
寸法	幅220 mm 高さ233 mm 奥行き195 mm （取付金具含む）	幅300 mm　高さ284 mm　奥行き300 mm （取付金具含む）	
質量	約1.5 kg	約2.7 kg	約3.3 kg
仕上げ	本体：ABS樹脂成形（マンセル近似色2.1Y7.7/1.1） 取付金具、ボルト：ステンレス		
最低引抜強度※4	1.1 kN｛115 kgf｝	1.3 kN｛133 kgf｝	1.3 kN｛135 kgf｝

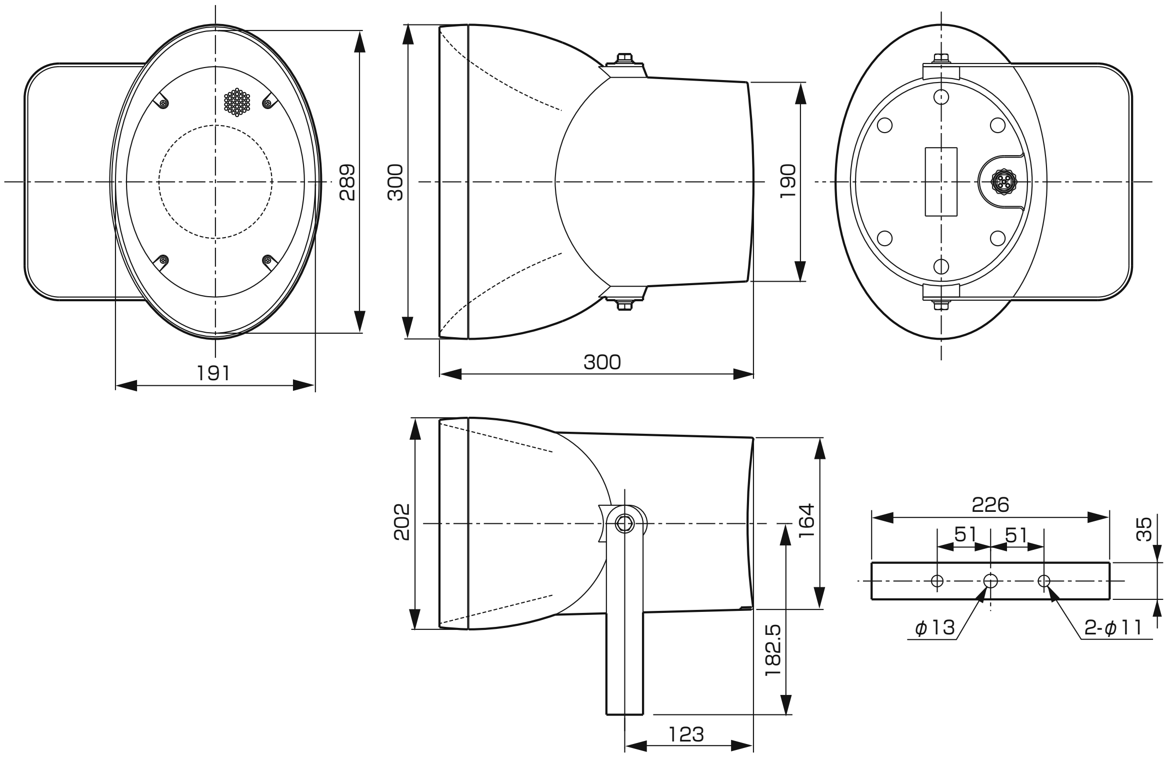
※1 種別とは、消防法で規定された音声警報「第2シグナル」を音源として、無響室にて得られる音圧（ピーク値）により定められています。
※2 消防法の規定により、測定された区分および値を用いています。
※3 JISで定められた値で、音声警報「第2シグナル」とは異なります。
※4 壁面／天井に取り付ける場合に使用するアンカーは、最低引抜強度の5倍以上の強度が必要です。

外観図

■WT-7006



■WT-7015、WT-7030



その他

保証とアフターサービス （よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電　話	（　　　）	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは

まず使用を中止し、接続している機器の電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●製品名	スピーカーシステム
●品　番	WT-7006,WT-7015,WT-7030
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　7年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1 年に 1 回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。
詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？		直ちに使用を中止してください
● 本機を使用せずに放置している。	▶	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**撤去**を依頼してください。
● 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。 ● 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。 ● 本機および取付部に破損や著しいさびがある。	▶	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**点検**を依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。
下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。
詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？		直ちに使用を中止してください
● 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。 ● 製品に触るとビリビリと電気を感じる。 ● 電源を入れても、音が出てこない。 ● その他の異常・故障がある。	▶	故障や事故防止のため、**電源を切り、**必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-410**（バナハ ヨイワ） **受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2022

A8QA5812NN
meNd0701-2042
Printed in China